

書籍仕入れご担当者 様【ジャンル/日本文学】

FAX: 092-726-9886

URL <http://genshobo.com/> e-mail [books@genshobo.com](mailto:books@genshobo.com)

1月  
下旬刊

新装版

# ヤポネシアの海辺から

## 《対談》島尾ミホ 石牟礼道子

解説・前山光則

四六判・220頁 ISBN 978-4-86329-261-1  
定価 2000円(税別) C0095

### 島尾ミホ・石牟礼道子の貴重な対話

どの頁からも海と空のあいだから沸き上がる深く静かなことばが語りかけてきます。

「ヤポネシア」という語の創出者・島尾敏雄の作品群を挟んで、海辺育ちの二人が時空を超えて語り合う。

### 南島の豊かな世界が甦る——

目次から

- ハレの日の賑わい  
奄美の正月料理
- 声が伝える思いの深さ  
神に唱えて遊ぶ
- 『死の棘』の内側  
『死の棘』の完成まで
- 海の声  
神が上がってくる渚
- ふるさとに住む、ふるさとを書く  
安住の地を求めて
- 男・女・夫婦  
それぞれの夫婦のかたち
- 血肉としての信仰  
二度の結婚式
- 書き残していること  
未完の絶筆を書き継ぐ
- 解説 ヤポネシアの海辺から 前山光則

石牟礼道子 没後5年

島尾ミホ 没後16年

ふたりが遺した「ことば」に  
再度、身を傾けてみよう!

島尾ミホ (1919~2007)

1919年、鹿児島市生まれ。1946年、島尾敏雄と結婚。著書に、『海辺の生と死』(創樹社)、『祭り裏』(中央公論社)、『島尾敏雄・ミホ 愛の往復書簡』(中央公論社)など。1975年、南日本文学賞、田村俊子賞受賞。1996年、南海文学賞受賞。2007年、死去。

石牟礼道子 (1927~2018)

1927年、熊本県天草郡(現天草市)生まれ。1969年、『苦海浄土—わが水俣病』(講談社)の刊行により注目される。1973年、季刊誌「暗河」を渡辺京二、松浦豊敏らと創刊。2001年、朝日賞受賞。2014年、『石牟礼道子全集』全17巻・別巻一(藤原書店)が完結。2018年2月、死去。

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 取扱品 書店・帖合 ご担当者様	冊	新装版 ヤポネシアの海辺から 《対談》島尾ミホ・石牟礼道子	解説・前山光則 定価 2000円+税 ISBN978-4-86329-261-1
	冊	海と空のあいだに 石牟礼道子全歌集	解説・前山光則 定価 2400円+税 ISBN 978-4-86329-195-9
	冊	色のない虹 石牟礼道子〈句・画〉集	解説・岩岡中正 定価 1900円+税 ISBN 978-4-86329-200-0
	冊	ここすぎて 水の径	石牟礼道子 定価 2400円+税 ISBN 978-4-86329-126-3
	ご注意日 様 [ / ]	弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL <a href="http://genshobo.com/">http://genshobo.com/</a> e-mail <a href="mailto:books@genshobo.com">books@genshobo.com</a>